10月17日（木）　研修会 脳血管疾患後遺症を有する利用者の在宅での入浴環境と留意点

企画：かいごのWa！福祉用具部会共同開催：ケアマネ部会・訪問介護部会
開催日時：10月17日（木）18～20時かながわ労働プラザにて開催
参加者：ケアマネ部会、訪問介護部会（27名）、福祉用具部会（9名）
講師：横浜中央病院　理学療法士　柴尾広子様

脳血管疾患後遺症の患者様についての講義と患者様の事例を元にとグループディスカッションをしました。グループディスカッションでは、患者様が自宅で入浴したいという希望を叶えるために、脱衣所～浴室、浴槽までの動線で、安全に入浴するにはどのような環境整備が必要か？をケアマネージャー様を中心に議論しました。

講義では、脱衣所と浴室の温度差による身体機能の変化など、入浴する際の留意点を中心に、病院ではどのように入浴しているのかについてお話していただきました。
グループディスカッションでは、福祉用具に関してシャワーチェア、浴槽内いす、手すり、バスボード等が必要、住宅改修では、手すりの設置、浴室扉の変更、すのこの設置等、その他、訪問看護のケア、ヘルパーさんのケア、介入が必要等活発な意見が飛び交い、安全に入浴するためにおける介護サービスで何が必要になるのか再確認することができました。
研修会当日の様子

参加福祉用具事業所
トーカイ・フランスベッド・・ホクゼンアメニティサービス・ヤマシタ・柴橋商会
（報告：ヤマシタ　志田）
福祉用具部会長　（株）北全 北川